

# きょうたんとて vol.132



**主な内容**

松本重太郎翁顕彰プロジェクト  
関西経済交流シンポジウム開催

**市政トピックス**

本市の地方創生のモデル事業 国認定の第1号としてスタート! ほか

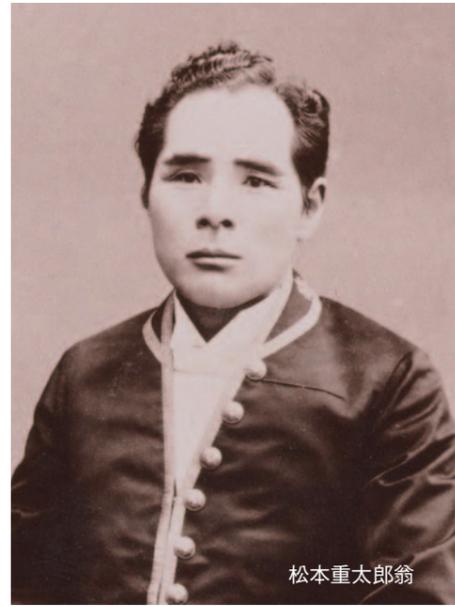
2015 3月号  
平成27年

2月25日発行  
写真: 百度打ち

# 関西経済交流シンポジウム開催

大阪市内のホテルで1月26日、「松本重太郎顕彰プロジェクト」関西経済交流シンポジウムが開かれ、松本翁ゆかりの企業関係者や、行政機関、地元関

係者など広く大阪、関西中心に約320人が参加し、翁の功績や起業精神を改めて振り返るとともに、北近畿と関西経済の新たな可能性をさぐりました。



松本重太郎翁

## 公に尽くす経世済民の志

### 近代日本経済の立役者

同シンポジウムは、本市出身で明治期の日本経済の立役者である松本重太郎翁の没後100年、生誕170年を節目に本市が企画したものです。開会に際し中山市長は「京丹後の地方創生を展望するうえで、松本翁の業績と精神に

立ち返って温め直すことが重要だ。また、北近畿の交通アクセスが飛躍的に発展し、北近畿新時代ともいえる丹後と大都市圏との社会的経済的な大交流が始まる。丹後と大阪に深い縁のある松本翁を顕彰することで、それを結節点に

大きな交流の輪を作りたい」とあいさつしました。また、関総一郎近畿経済産業局長は「松本翁は、ベンチャー企業を育てた。そんな翁の歩みと精神から私たちは多くのことを学ぶことができる」と来賓祝辞を述べました。



登壇者の発言を熱心に聞く参加者たち

続いて、大阪大学名誉教授の宮本又郎氏が「松本重太郎翁―果敢なる企業家活動の軌跡と遺したものの―」と題した基調講演を行いました。宮本氏は、松本翁と同時期に多くの企業の設立に関わった渋沢栄一と比較しながら翁を紹介するとともに「松本翁は、商工業の発展の基礎となる銀行の設立や鉄道整備など国家公共の利益のために尽力した。41社もの企業の創立に携わったことから、翁の経営思想や公に尽くす志が分か

る」と分析しました。その後、「北近畿の新たな可能性と関西経済の発展」をテーマにトークセッションが行われ、5人のパネラーが活発に議論を展開しました（次ページ）。

1月26日



### 松本重太郎翁年譜

- 天保15（1844）年 10月5日（和暦）、間人の農家松岡亀右衛門の次男として誕生
- 嘉永6（1853）年 10歳 単身で京都の呉服商へ丁稚奉公
- 明治元（1868）年 25歳 独立。松本重太郎に改名
- 明治3（1870）年 27歳 大阪で洋反物雜貨商・丹重を創業
- 明治10（1877）年 34歳 西南戦争の軍需景気を見越して軍用品を買い占め、これらの販売により巨利を得る
- 明治11（1878）年 35歳 第三百十国立銀行（現・みずほ銀行）を創立。明治13年に頭取就任
- 明治15（1882）年 39歳 大阪紡績会社（現・東洋紡）を創立し、取締役に就任
- 明治17（1884）年 41歳 日本で初となる私設鉄道阪堺鉄道株式会社（現・南海電鉄）を創立し、社長に就任
- 明治18（1885）年 42歳 間人学校の建築費として800円を寄附したことにより、賞勲局から銀杯を授かる
- 明治20（1887）年 44歳 大阪麦酒株式会社（現・アサヒビール）を創立し、相談役に就任
- 明治21（1888）年 45歳 山陽鉄道会社（現・JR山陽本線）を創立し、検査役に就任。明治25年に社長に就任
- 明治29（1896）年 53歳 大阪府第二区選出の衆議院議員に当選
- 明治35（1902）年 59歳 大阪瓦斯（現・大阪ガス）の監査役就任
- 大正2（1913）年 70歳 6月20日、永眠

※年齢は数え年



毎日新聞社編集局次長の小笠原敦子氏（写真左）がコーディネーターを務め、「北近畿の新たな可能性と関西経済の発展」をテーマに、パネラーたちが熱い議論を交わしました。



大阪商工会議所 会頭 京阪電気鉄道(株) 最高顧問 佐藤 茂雄 氏

### 地方創生実行の良い例に

松本翁は、大阪にビジネスチャンスを求めてやってきた。人材輩出のある地方と、人材を育成する都会との連携で大阪の基盤が築かれたことを改めて認識した。成長戦略である地方創生を実行するに際して、大変参考になる例だ。



大阪国際フォーラム 会長 萩尾 千里 氏

### 自分たちの魅力を見直す

関西には、歴史、伝統、文化、芸術、繊維、医療など、自分たちの持っている素晴らしいものがある。これらは国際的にも通用する魅力だ。新しいことばかりに目を向けず、既存の魅力を見直して、地道に積み上げていくことが大切だ。

### 立体的に取り組む

高速道路ができるまで時間短縮になる。そこで、観光では関西一円に渡って魅力を発信し、インバウンド誘致を図ることが必要。京丹後が独自でやるだけでなく、関西とコラボしながら情報発信するなど、立体的に取り組むことが大切だ。



南海電気鉄道株式会社 代表取締役会長兼CEO 山中 諄 氏

### 交通の発展がカギ

京丹後は古くから開けた地で、ものづくりのふるさとといえる。大阪が発展したのも、もとをたどれば北前船に代表される日本海側との交流が原点だ。交通が飛躍的に発展することは、地域の発展にとっても大きな要素となる。



大阪大学 名誉教授 宮本 又郎 氏

### グリーン経済でリードする

京丹後市は、手つかずの海、山、里を背景にもつ健康長寿の里。健康と環境に優れた本市の魅力や、大都市圏と交流することによって「環境・健康に優れた、同時に経済に強い」という世界をリードするグリーン経済のモデルにすることができると考えている。



中山泰 京丹後市長



松本重太郎100年 projectのメンバー

私たちは、一昨年、松本重太郎100年project実行委員会（東和彦代表）を立ち上げ、松本翁を顕彰し、昨年からは重太郎翁の生誕祭を開き、翁の偉業を語り継ぐと活動しています。

昨年は、間人にある松本翁の墓石を掃除したり、間人小学校にある翁の石像の横に、小学校の建築資金寄贈に感謝する石碑の台座を新調したりしました。また、松本翁の功績をたどるツアーを企画し、松本翁にゆかりのある「大和屋」や高野山・常喜院を訪れ、偉業をしのびました。

今後は、子ども向けの「語り部」を行って功績を語り継いだり、定期的な講演会を計画したりしています。

### 地域でも松本翁を顕彰する取り組みが活発化しています

私たちは、地域に根差した題材で紙芝居を作成し、地元で上演するグループ「シアターかたつむり」（糸井喜久枝代表）です。昨年の7月から、松本重太郎の生涯を描いた紙芝居を上演しています。紙芝居は、メンバー3人が7カ月掛けて文献を読み込み、絵を描いて作ったものです。



シアター「かたつむり」のメンバーたち

国から第1号認定を受けた  
京丹後市地域再生計画 <概要>

「グリーン・ウェルネス新公共交通体系構築と  
新シルク産業創造・地域協働大学等推進計画」

計画の主要3施策

新シルク産業の創造

高機能性シルクの研究・開発や無菌・無人・周年・人工飼料等による養蚕システムの実践と農地確保や桑栽培、シルク関連製品・商品の製造・販売までの産業集積化の推進。2020年東京オリンピックを視野に入れた、「和装」をはじめすそ野の広い新たな絹・シルク産業と文化の創造・発信に取り組みジャパンブランドを育成。



構造改革特区及び地方創生特区の指定を目指す

- ◆農業生産法人の構成員要件の緩和
- ◆閉校舎等を活用した養蚕施設の整備とその運用開始
- ◆新シルク産業の創造（新衣料、健康産業、医療産業等）



新公共交通体系の構築 ※国土交通省と協議し「通達」が発出予定

- ◆EVタクシーによる買い物代行、見守り代行の新たなサービスの開始
- ◆「ヒト」だけでなく「モノ+サービス」の輸送実施 等



地域協働大学の法人制度の創設 ※文部科学省と協議し「通達」が発出予定

- ◆共通単位化と教員専任要件の緩和等の実施
- ◆法人化で地域振興等の恒常的な協働活動の推進
- ◆学生確保のためシャトルバス運行、住居（シェアハウス等）の確保 等



イメージ写真

再生可能エネルギーの全面展開

太陽光発電等の再生可能エネルギー生産の地域全面展開を推進する。地域生産の再生可能エネルギーによる充電システムを広く構築し、地産地消のクリーンなエネルギーを公共交通等で循環活用し、環境調和社会の創造に貢献する。

- ◆EV車両の普及推進のための充電設備（エリア）の拠点整備
- ◆防災・避難施設への再生可能エネルギー設備設置
- ◆分散型地域エネルギー事業導入可能性調査事業の実施等

「ヒト」「モノ」の流れをつかむ観光振興

平成26年7月の舞鶴若狭道全線開通、平成27年春の京都縦貫自動車道の全線開通、また、平成28年度には京丹後市、大宮森本ICの開設など、北近畿新時代の到来を迎えようとしている中、京都府北部の観光振興プロジェクトである「海の京都」構想の推進とともに、京丹後市では市内にある3つの道の駅と、全国初の試みとなる、昔ながらの街並みをエリアごと登録する新たな道の駅を拠点とし、「海の京都」構想のゲートウェイとして、「ヒト」「モノ」の流れをつかみ、着地型観光の振興を図る。

- ◆遊覧船等の整備・運営電動レンタサイクル、二次交通網（鉄道・バス・タクシー）の整備
- ◆空き家（店舗、宿泊施設、民家等）の活用による起業家等の定住促進
- ◆外国人案内所・免税店の整備・登録
- ◆急速冷凍装置の導入及び加工商品開発 等

地域包括ケアの推進

高齢者等の外出機会の増加による歩く運動を伴いながら、人との交流や消費行動を通じた健康長寿・介護予防の推進を図るとともに、外出困難地域等への生活必需品の配送、見守り代行等の取組など多様な生活支援を進め、介護・医療に及ぶ負担軽減を図る。

- ◆新公共交通体系の積極的な活用 ◆京都府立医科大学との研究推進（健康寿命の延伸化等）
- ◆「全国ご当地体操サミット」の開催等を通じた健康増進普及と事業の推進

※計画の詳細は、市ホームページ「記者会見資料（1月21日）」でご覧いただけます。問：企画政策課（☎69-0120）

その他施策



⑤石破地方創生担当大臣（右側の手前から2人目）との懇談会で代表報告を行う中山市長（左側の手前から2人目）  
⑥安倍総理（右側）から認定書を受領した中山市長（中央）

この度、京丹後市は、第30回地域再生計画の認定申請（1月上旬）を行ったところ、地方創生のモデル事業としての国の第1号認定（全国で20団体）を受けることが決定し、1月22日に総理大臣官邸（東京都）にて、安倍晋三内閣総理大臣から中山市長に認定書の授与が行われました。同再生計画では、①新シルク産業の創造、②新公共交通体系の構築、③地域協働大学の法人制度の創設などの取り組みを

掲げており、今回の認定により、地域再生計画事業の推進にさらなる弾みが付くことになりました。  
今後、国の地方創生のモデル事業として、地方再生戦略交付金の活用など積極的な施策展開を図ることとしています。なお、認定書授与式に先立ち、石破茂地方創生担当大臣と20の認定団体の首長との意見交換会も開催され、会津若松市の室井照平市長と本市の中山市長が代表し、地方創生に向けた各自治体の「総合戦略」の構想等の事例発表を行いました。

認定に当たり安倍総理からのメッセージ



去年、意欲あふれる地方を応援する『総合戦略』を決定し、今年は、これらを具体化して実行する段階に入ります。

今年は、いわば地方創生元年にあたります。地方創生の先駆けとして、全国の自治体をリードしていくことを期待します。頑張ってください。

まちづくり

本市の地方創生のモデル事業

国認定の第1号としてスタート！

目次

index

|   |     |
|---|-----|
| 松本重太郎翁顕彰プロジェクト<br>関西経済交流シンポジウム開催<br>-北近畿の新たな可能性と関西経済の発展を目指して- | P2  |
| 市政トピックス<br>本市の地方創生のモデル事業 国認定の第1号としてスタート! / 「かぶと山子ども園」完成 ほか    | P4  |
| 市政guide<br>下水道のすごい力（最終回） / つながりの中に学びを育む（最終回）                  | P8  |
| まちのわだい<br>御旅市場に多目的情報交流スペースが完成 / 丹後町・岡成地区で伝統の「百度打ち」 ほか         | P10 |
| 医療の現場   | P12 |
| みんなの広場  | P13 |
| 文化 de 丹後  | P14 |
| 生命の絆  | P15 |
| 情報ファイル<br>市の文化財 / ジオトピックス / 和気泰来 / 図書館だより ほか                  | P16 |
| 京丹後人 <sup>59</sup><br>シンセサイザーの使い手<br>FMたんご局長代理 中西 進さん (45)    | P20 |

今月の「きょうたんで「いいね」

漁師まちの伝統行事  
「百度打ち」

寒風吹きすさぶ2月1日の早朝、上半身裸で、化粧回しを締めた若者が地区内を駆け回る「百度打ち」の様子取材しました。

「百度打ち」は、江戸時代から伝わる伝統行事で、五穀豊穡や家内安全、無病息災を祈願する奇祭。11人の若者たちが、「ワッショイ、ワッショイ」と掛け声をあげながら走る姿は、冬の漁師まちにピッタリの光景で、厳しい寒さにも打ち勝つ熱気が伝わってきました。

（関連記事 11月まちのわだい）

# 河村たかし名古屋市長来丹

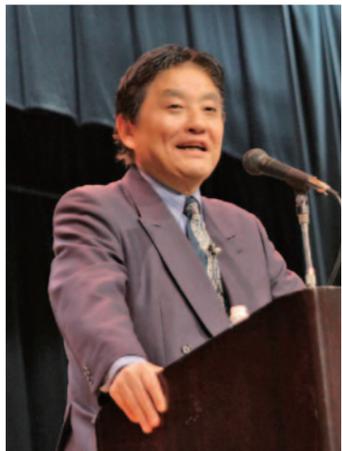
## 「丹後と名古屋の大交流新時代」をあつく語る！

「どえりゃあ」名古屋ことばを交え持論を展開

方言「〇〇弁ではなく  
〇〇ことば」に

京都北部・北近畿の経済活性化について有識者とともに考える「京丹後経済成長戦略新懇話会（第11弾）」を1月31日、峰山総合福祉センターで開催しました。

同会は、現在進める、丹後・東海地方の文化方言等調査事業を機に、さらに交流を深めようと、河村たかし名古屋市長に講演を依頼。平成26年7月、舞鶴若狭自動車道（小浜敦賀間の整備が完了）が全線開通し、平成27年度



名古屋ことばを交えてユーモラスに持論を語る河村名古屋市長

には京都縦貫自動車道も全線開通することに伴い、名古屋230万人、愛知県700万人の市民とのさまざまな分野での大交流を育んでいこうと企画され、「丹後と名古屋の大交流新時代」と題し、名古屋市政や経済状況、言葉の重要性などについて、「どえりゃあ」などの名古屋ことばを交え、持論を展開しました。

河村市長は冒頭、方言について、明智光秀が岐阜県出身であることに触れ、「本能寺の変の後、娘の玉（細川ガラシャ）が弥栄町味土野の地に幽閉されていたとき、玉の側にいた光秀

の夫が使っていたことばが丹後に広まったのでは」と丹後のことばとの関係性を話しました。また、地域のことに誇

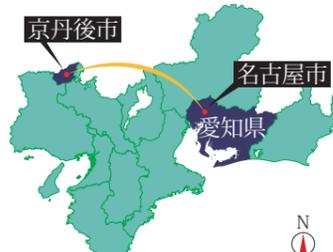
りと愛着を持つ河村市長は「標準語と〇〇弁を対比することは差別であり、言葉を標準化する必要はない。共通語と〇〇ことばとを言い換えるべき」と持論を展開しました。

### ものづくりの技術は まちの発展に不可欠

続いて、財政や産業面において、市長および市職員の給料減額や市民税減税の取り組み、名古屋市の発展の礎となった木曾のヒノキについて紹介。名古屋市は、自動車、航空・宇宙、工作機械産業が集積する地域であるが、元々は、ヒノキの加工技術がものづくりのはじまり。この技術が名古屋城やまちづくりの基礎となり、そして、自動車や飛行機などの開発に生かされ、今日の発展につながっている。これからも、ものづくりの技術を大切にしたい」と述べました。

### 京丹後の 長寿の秘訣に興味

本市の感想ならびに東海地方と丹後を結ぶ交通アクセスの向上することについては、100歳以上の長寿者が多いことに対し、「どんなうみやあもんを食べたら長生きできるのか。名古屋の人にも宣伝し、バスツアーを仕掛けたい」と話しました。



高速道路網の整備により、車で約3時間と所要時間が大幅短縮

### 日本初「子ども 応援委員会」を設置

子育て施策については、子どもの自殺問題について触れ、いじめから守り、子どもたちを励ましてやれる体制が必要だとし、スクールカウンセラーを充実させた日本初となる「子ども応援委員会」の取り組みを紹介しました。



京丹後七姫のイラストがラッピングされたバスの前で、今後のさらなる交流を約束する両市長

最後に、名古屋を「どえりゃあ おもしろいまちにしたい」と締めくくりました。

### 本市とのさらなる 交流に向けて

講演翌日、「京丹後七姫ラッピングバス」の取り組み（詳しくは次号掲載）について、中山市長が経過説明を行いました。御滞在を通じ、豊臣秀吉、改めて名古屋と丹後のことばのつながりの話題となり、そのルーツについて、名古屋で大討論会を実施することをはじめ、観光、産業、文化などさまざまな分野でさらなる交流に向けた提案がなされました。

## 子育て

### 久美浜町内の3保育所（湊・田村・神野）を統合

# 定員160人の「かぶと山子ども園」完成

久美浜町浦明で建設を進めていた「かぶと山子ども園」が完成し、1月15日、竣工式が行われました。出席者らが園舎の完成を祝うとともに、子どもたちの健やかな成長を願いました。

### 子育て支援や 保育環境の充実

かぶと山こども園は、「京丹後市保育所再編等推進計画」（平成18年策定）に基づいて、久美浜の湊、田村、神野の3保育所の統合施設として整備。久美浜町浦明地内の約6930平方メートルの敷地に、木造一部述べ約1564平方メートルの園舎が完成しました。

用地取得費を含む総事業費は約8億5584万円。市の一般財源や過疎債、施設整備事業債、林業・木材産業等振興施設整備交付金1億2578万円を活用しました。

施設は、府内産の木材をふんだんに使用。2歳～5歳児の保育室7室やほふく室1室をはじめ、市民ニーズの高い子育て支援室、広々とした遊戯室などを設けています。

同園では、4月1日から幼稚園を併設するとともに、これまでの保育内容に加え、0歳からの低年齢児保育や土曜午後の保育を新たに実施。2台の通所バスも運行され、保育・教育環境と子育て支援の充実が図られます。

### 1月15日の竣工式

### 5歳児ら歌で完成祝い

1月15日の竣工式には、府や市の行政関係者や工事関係



完成した「かぶと山こども園」

## 安全・安心

### 米軍TPY-2・レーダー

# 本格運用後、初の環境影響調査

平成26年12月、米軍経ヶ岬通信所に設置のTPY-2・レーダーの本格運用後の環境影響調査が1月26日、同通信所周辺で実施されました。防衛省が実施する今回の調査は、電磁界強度（電波）を調べるもので、レーダー配備前と同様に、レーダー正面に位置する沖合い200メートルの海上、袖志漁港入口付近、尾和区有地の3カ所で実施。近畿

式典で中山市長は、「かぶと山保育園が子どもたちとともに地域の皆様に愛されて親しまれる施設として、地域に根付き発展していくことを心から願います」とあいさつ。工事関係者らへの感謝状の贈呈に引き続き3保育所の子どもたち60人が元氣よく歌を披露し、園舎の完成を祝いました。



竣工式で元氣に歌声を披露する園児たち

### 冬季時の交通事故防止へ

## 米軍関係者ら雪道走行を体験

米軍経ヶ岬通信所に配属の米軍関係者を対象にした交通安全講習会が1月16日、峰山自動車学校（峰山町荒山）で開かれました。講習会には、約40人の米軍人らが出席し、指導員が同乗する教習車を運転。コース内

に設けられた仮設の雪道を走行し、急ブレーキを掛けた際のスリップ体験や坂道発進の仕方を学びました。同講習会は、積雪時に恐れのある追突事故などを防止することを目的に実施されたものです。



雪道での走行体験を行う米軍関係者

中部防衛局および市職員立会いのもと、業者が測定器を用いて、パソコンにデータを取り込みました。調査結果は、市ホームページなどで公表します。

小中一貫教育が峰山中学校区・網野中学校区で本格的に始まりました

# つながりの中に学びを育む【最終回】

最終回となる今回は、平成24年度から本年度まで文部科学省委託の「人権教育総合推進地域事業」の指定を受けた大宮中学校区での取り組みを紹介いたします。大宮中学校区では、平成27年度の小中一貫教育スタートを見据え、就学前から中学校卒業までの10年間を通した人権教育・学力充実・キャリア教育のカリキュラムづくりや、保育所・幼稚園、小・中学校合同の研修会や授業研究会など、校種を越えた取り組みを行っています。

6月、通学路のゴミ拾いや草取りなどを行うクリーン作戦を小中学校等が連携して行いました。小中学生が共に行う環境整備のボランティア活動を通して交流を深め、地域への貢献を通じて「自他を尊重し心豊かな人間性を育てる」ことを目的に実施したものです。町内の各公民館とも連携し、地区との交流も図りました。この取り組みを通じて、改めて自分の住む地域を見つめ直し、地域の一員としての自覚が高まりました。

「小中ふれあい地域清掃活動」で交流・連携

9月、大宮こども園と大宮中学校合同で、津波を想定した避難訓練を実施しました。中学生は、地震発生のお知らせを受け、大宮中学校グラウンドに一旦避難。その後、大津波警報発令と同時に大宮こども園に向かい、園児を連れて、ふれあいスポーツ広場に避難しました。中学生は、園児に歩くスピードを合わせたり、しゃがんで目線を合わせたりしながら

10月から11月には、小学校の児童会と中学校の生徒会が連携してあいさつ運動を行いました。中学校の生徒会

中学生は責任をもって誘導し、また園児は誘導してもらったことに対してしっかりとお礼を言うことで、一人一人の子ども達が自己有用感、自己肯定感が高まる取り組みとなりました。



▲園児の手を引き、避難する中学生たち



▲中学生にあいさつし、ハイタッチしながら校舎に入る児童たち

本部役員が各小学校へ出向いて、朝のあいさつをしながらハイタッチして、小学生の登校を出迎えました。中学生の声かけに、はじめははずかしそうにしていた小学生も、2、3日すると少しずつ気持ちが打ち解けていくようでした。大宮中学校生徒会の奥田美空さん(3年)は、「取り組みを進めていくうちに大きな声であいさつを返してくれる人が増えてうれしかったです。取り組みが終わっても、それぞれの小中学校で、あいさつを広げていきましょう」と、各小学校へメッセージを伝えました。

昨年11月14日、これまでの3年間の成果を発表する研究発表会を、各保育所・幼稚園、小・中学校で開催しました。大宮中学校区の3年間の研究成果と小中一貫教育の実施に向けた展望について、各小中学校から▼人権教育の研究や保幼小中が連携して行ってきた取り組みを通して、子ども達に自己肯定感・自己有用感が育ってきた▼地域の方々からも「生徒が明るくなり、よくあいさつをしてくれるようになった」と聞くなどの報告がありました。3年間の取り組みの成果を来年度から実施する小中一貫教育につなげ、小中一貫教育で目指す「将来に夢と希望をもつて生き生きと学ぶことのできる子ども」を育てることに引き続き取り組んでいきます。

図学校教育課 ☎69・0620



## きれいな水と汚い水

写真右は、弥栄町溝谷を流れる小川です。この小川は住宅地の間を流っています。家が、家からの生活雑排水が流れ込まないためきれいで、野菜を洗ったりする光景を目にすることもありません。一方、写真上は、網野町の離湖に流れ込む水路です。生活雑排水が流れ込むため、水は濁り、ヘドロが溜まっています。そのため、蚊やハエの発生を招いたり、悪臭がしたりします。



市では、公共水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、下水道整備や合併浄化槽の設置を進めています。しかし、一般的には「下水道＝水酸化」と思われがちで、水の循環や資源・エネルギーを生かすことなどの本来の目的は忘れられています。トイレの水酸化というインフラ整備事業の観点だけでなく、大切な環境と水の循環を守り、自然から取り入れた水をきれいにし、戻す」という観点に立つことが大切です。皆さん一人ひとりが下水道のもつ機能の大切さ、重要性を認識し、生活排水による汚染から、自然を守り隊」となって、みんなの力で丹後の河川や湾、湖を守りましょう。

図下水道整備課 ☎69・0550

シリーズ

# 下水道のすごい力

【最終回】

きれいな海や川を未来へ



下水道接続して自然を守ろう

私たちの生活に必要な「水」。このコーナーでは、公共用水域の水質保全と生活環境の向上のために整備する「下水道」をテーマとして、各種事業や支援制度などについて、さまざまな角度からシリーズで紹介いたします。

## ご存知ですか？下水道接続支援制度

### 【公共下水道使用料の減額制度】

浄化槽から公共下水道に切り替えた世帯は、1年間、毎月の下水道使用料が基本料金(767円)のみで使用できます。

<対象条件など>

- 平成27年6月30日までの接続であること。(平成24年7月1日以降に供用開始された区域については、その日から3年以内の接続であること)
- 市内に本社・本店のある指定工事業者を利用した工事であること。

※その他、市税等の滞納がないことなどの対象条件もありますので、詳しくはお問い合わせください。

### 【工事資金のあっ旋、利子補給制度】

市では、下水道接続工事を行う際に必要となる資金についての相談および融資あっ旋、借入後の返済にかかる利子の全額を補給するなど、接続に向けた支援を行っています。

<融資条件など>

- 融資金額：200万円以内
- 返済期間：10年以内
- 金利：2.4% (H26年度)
- 返済方法：元利均等返済

### 返済額の目安(返済期間10年間の場合)

| 借入額    | 100万円  | 150万円   | 200万円   |
|--------|--------|---------|---------|
| 毎月の返済額 | 9,381円 | 14,072円 | 18,763円 |

※上記返済額は概算であり、実際の返済額とは異なる場合があります。

図普及推進・料金課 ☎69-0540



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」



# まちのわだい

★ town topics ★



「MOPPEN SPACE@市場店」開店記念式典の様子



スマートフォンなどの端末を使って右のコードを読み取ると、動画が再生されます。\*機種等により再生されない場合があります。

まちのにぎわいやビジネス創出に期待

御旅市場に多目的情報交流スペースが完成

2月1日 峰山町

本市の資源を活用して元気なまちづくりを応援する、まちづくり協働支援チームMOPPEN※(堀井邦彦会長)が企画・運営する店舗「MOPPEN SPACE@市場店」が2月1日、峰山町の御旅市場の一角にオープンしました。

この日、主催者や来賓、地区関係者ら約40人が記念式典に出席し、開店を祝ったほか、式典後には、節分にちなんだ「鬼のお面づくり」や「英会話」の教室が開かれ、家族連れなどが参加しにぎわいました。

堀井会長は、「人が交流すれば、にぎわいだけでなく、新たなアイデアやビジネスの可能性が生まれる。このような場づくりを市内全域で展開したい」と抱負を語っていました。田中千春店長は、「みなさんに楽しんでもらえるイベントを企画し、仲良く笑いの絶えない、気軽に立ち寄れる場にしたい」と話していました。(※)新たなまちづくりのため、地域の魅力を「もう一度」(丹後弁で「もっぺん」)見直していこうという思いから、チーム名に使用



▲家族連れらが参加した「鬼のお面づくり教室」の様子

## 日用品から昔の暮らし学ぶ

1月20日 網野町  
網野資料館で網野南小児童ら見学

「昔のくらし展」が開かれている網野郷土資料館に1月20日、網野南小3年児童45人が訪れ、明治から昭和初期に使われていた日用品から当時の暮らしを学びました。

和田省三館長は「先人たちは自分たちの近くにあるものを上手く利用して道具を作っている。これらの道具をじっくり見ていると、当時の人の知恵や努力が見えてきます」とあいさつ。炭火を使ったアイロンやこたつのほか、手動の洗濯機などの道具とともに、当時の暮らしぶりを説明しました。

石田心吹君は「氷を使って冷やす冷蔵庫はとても工夫されていて、当時の人の知恵に驚きました」と話していました。



▶和田館長(右)から道具を見せられ、その使い方について答える児童たち



▲水質検査試薬を用いて生活排水が水質を悪化させる原因になることを調べた時の様子を説明する久美浜小の児童たち

地域の豊かな自然を守り、後世につなげようと、「丹後環境シンポジウム」(丹後の豊かな環境づくり推進会議主催)が2月8日、アグリセンター大宮で開催されました。

同シンポジウムでは、ジオパークを生かした取り組みを実践する京丹後龍宮プロジェクト代表の池田香代子さんの基調講演および丹後地域の小学生、高校生が環境学習や活動について発表しました。

「守ろうぼくらの久美浜湾」と題し発表した久美浜小の4年生(20人)は、他産地に比べ成長が早い久美浜湾のカキについて、湾の閉鎖性によりプランクトンが豊富などと説明したほか、シャンプーやマヨネーズを例に挙げ、生活排水による水質汚染について報告。最後に、童謡の「ふるさと」を合唱し、「久美浜湾をみんなで守ろう」と環境保全を呼び掛けました。

会場には約250人が訪れ、身近な海や川と関係のある生物や人々の暮らしぶりとともに、魅力ある資源を生かし、守ることの大切さなどについて考えました。

自然の活用や保全を考える  
アグリセンター大宮で環境シンポジウム開催

2月8日 大宮町

地区の高齢者と子どもが遊びを通じて触れ合う「異世代交流会」が1月24日、溝谷区公民館で開かれ、参加者たちがコマ回しやカードゲームなどを楽しみました。

同区で高齢者サロンを開いている「ひまわりクラブ」が企画したもので、2年目となる今回は、区内の小学生ら30人が集いました。

子どもたちは、お年寄りからお手玉やコマ回しのコツを覚えてもらったお返しに、若者に人気のカードゲーム「UNO(ウノ)」の遊び方を手ほどき。お年寄りたちは、子どもたちからルールを学びつつ、さまざまな効果のあるカードを駆使して上がりを目指していました。

このほか、参加者らは昼食をはさんでビンゴゲーム、合唱、新聞を使った遊びなど盛りだくさんのメニューを体験。会場は、始終笑顔に包まれていました。

松林好子さん(65)は「童心に帰って楽しむことができた。初めてのウノも刺激があって面白かった」と満足した様子で話していました。

お年寄りにカードゲームを手ほどき  
溝谷区で小学生・高齢者の異世代交流会

1月24日 弥栄町



▲子どもたちからルールを学びながらカードゲームを楽しむ参加者たち

## 化粧まわし姿の若者が疾走

丹後町・岡成地区で伝統の「百度打ち」

2月2日 丹後町



▲神社に小石を奉納し、五穀豊穡などを祈願したメンバーたち

化粧まわし姿の若者が区内を駆け巡る伝統行事「百度打ち」が2月2日、丹後町間人の岡成地区で行われました。

午前7時、20代から40代までの区の若者11人が公民館を出発し、「ワッショイ、ワッショイ」と威勢の良い声を響かせながら約2キロの道のりを疾走。途中、後ヶ浜で小石を拾い、三柱、稲荷、早尾の3カ所の神社に奉納し、五穀豊穡や無病息災を祈願しました。

同行事は、江戸時代に始まったとされる伝統の奇祭。かつて相撲の巡業が行われていた土地柄から、「立岩」や「稲荷山」など地元ゆかりのしこ名が刺繍された化粧まわしを付けるのが風習となっています。

## 福招く落語に笑顔あふれる

1月21日 久美浜町  
安養寺で恒例の「節分まつり」



▲笑福亭扇平さんの落語に笑顔あふれる会場の様子

安養寺(久美浜町)で2月1日、毎年恒例の「節分まつり」が開かれ、訪れた住民ら約200人が落語や屋台、福豆まきなど多彩な催しを楽しみました。

本堂の特設会場で行われた、福を招く「ふれあい寄席」では、桂恩狸さん、笑福亭扇平さんが表情豊かに絶妙な口前を披露。訪れた子どもたちとの掛け合いもあり、観客の笑いを誘っていました。

屋台では、イノシシ肉や地元の野菜が入った「山くじら鍋」やうどんなどが振る舞われたほか、最後には、今年の年男、年女らによる福豆まきも行われました。





A band of life

いのち きずな

# 生命の絆

## 生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃんの誕生を喜びご家族の姿を紹介し、ご応募いただいた全ての方を掲載しています。どしどしご応募ください。

詳しくは秘書広報広聴課「生命の絆」係まで (☎ 69-0110)

予定日より早く、小さい体だったけれど、元気いっぱい産まれてきてくれてありがとう！  
待ってたよ♡

吉岡 拓人ちゃん(男の子)  
1月生まれ・2,488g  
母：彩さん 父：直行さん



元気に生まれてきてくれてありがとう  
やっと会えたね。この日が来るのを  
楽しみに待ってたよ。これからよろしくね。

山添 大翔ちゃん(男の子)  
1月生まれ・2,750g  
母：淳子さん 父：宏明さん (網野町網野)



元気に生まれてきてくれて  
ありがとう。これからたくさん  
可愛い笑顔をみせてね。

下司 美結子ちゃん(女の子)  
1月生まれ・3,288g  
母：美紗さん 父：純也さん (峰山町杉谷)



元気に産まれてきてくれてありがとう♡  
お姉ちゃんと仲良くしてね♡

金羽 玲奈ちゃん(女の子)  
1月生まれ・3,076g  
母：菜穂さん 父：潤さん  
(弥栄町堤)



元気に生まれてきてくれて  
ありがとう！  
お兄ちゃんと仲良くね♡

池口 怜奈ちゃん(女の子)  
1月生まれ・2,836g  
母：美希さん 父：裕己さん



松に朝日が差し込む様子を描いた作品  
「老松の木洩れ陽」(縦116.7cm・横90.9cm)

ではなく、まずは自分の心に落とし込み、その風景の一番良い状態を想像して構図などを考えています。私が水墨画を始めたのは20年ほど前。京丹後出身の水墨画家の方が開

「墨は五彩を兼ねる」という言葉があるように、優れた作品は色彩が浮かび上がって見えます。また、余白を残すことで多くのものを想像させるなど、見る人を飽きさせない独特の魅力があります。作品には描き手の人柄や精神がはつきりと表れます。今後も自分の個性を大切に、制作を続けていきたいと思っています。

## ぶんかでたんご

# 文化de丹後

ぶんか手帳 #16

# 水墨画

このコーナーでは、文化活動で人生を楽しむ皆さんにその魅力を紹介していただきます。

## 墨の濃淡と技法で 浮かび上がる色彩

水墨画は、墨の濃淡やかすれ、にじみ、ぼかしなどの技法を用いて、明暗や遠近感を表現し、さまざまなものを描写します。筆を紙に対して垂直に立てて描く「直筆法」や、筆を倒し、穂の腹部を用いて面を描く「側筆法」など、基礎となる技法がいくつかあり、これらを一つずつ身に付

けることで、誰でも比較的簡単に描けるようになります。制作の際は、水墨画の味のある「にじみ」や「ぼかし」を表現するため、霧吹きで紙を濡らして色を入れる作業を何度も繰り返します。毎回同じように色が出ず失敗することもありますが、ときには思ったより良くなることもあり、墨絵の醍醐味を味わえます。題材は主に京丹後の風景とされていますが、ただ描写する

いた作品展に行ったのがきっかけです。墨一色であらゆるものを表現する奥深さと見る人の想像力を掻き立てる作品に感動し、さっそく教室に通い始めました。現在は、弥栄水墨画サークルに所属し、14人のメンバーと一緒に展覧会などに向けて楽しみなが制作しています。

吉岡 新八さん (68)



弥栄町等楽寺在住。昨年春には、自宅の蔵の壁にペンキで巨大な水墨画を描いた吉岡さん。「今後はふすま絵にも挑戦してみたい」と笑顔で話していました。

## ぶんか TOPICS

### 浅茂川区の伝統行事

## 節分太鼓で無病息災祈願

数えて36歳の男性が、区内の家々を回って太鼓を打ち鳴らし、無病息災や家内安全を祈願する伝統行事「浅茂川節分太鼓」が2月3日、浅茂川区(網野町)で行われました。

午前7時、浅茂川区民会館前で出発式が行われ、三浦到連合区長が「皆さんの力強い太鼓で地域の厄を払い、区民の皆さんが幸せに過ごせるよう頑張ってください」と激励。威勢良く初

打ちを行った後、地域を巡回し、1日かけて約100軒を訪問しました。

浅茂川保育所では、園児たちの前で「どっこい、どっこい」「ようつ、ようつ」の掛け声と共に迫力のばちさばきを披露。園児も一緒になって声を出し、盛り上がっていました。

今年は、昭和55年生まれの同年組織「みごろ会」の5人が太鼓を担当しました。



上/浅茂川保育所で迫力のバチさばきを披露するメンバー。演奏後は鬼の面を被って登場し、子どもたちは豆まきを行った  
右/事業所や民家を訪問し、玄関先で、元気な掛け声と共に勇壮な太鼓の音を響かせるメンバー





# 山陰海岸ジオパークマリンコースマップを 作成しています



山陰海岸ジオパーク推進協議会は、海の見所や暮らし、遊覧船等の体験など、海の持つ魅力を地図上に表した「山陰海岸ジオパークマリンコースマップ」の作成を進めています。

本市のコースは、「立岩・経ヶ岬コース」「夕日ヶ浦・琴引浜コース」「久美浜コース」の3コースで、市域海岸線を全て網羅。完成は3月中を予定しており、道の駅てんきてんき丹後などで配架するほか、道の駅てんきてんき丹後、八丁浜シーサイドパーク、アメニティー久美浜公園にマップの看板を設置する予定です。

ぜひ、マップを手にとって足を運んでいただき、本市のすばらしい海を体感してください！（観光振興課）



山陰海岸ジオパーク 立岩・経ヶ岬 マリンコース (イメージ)

このクラウドファンディングとは、社会性の高い又はクリエイティブな事業に取り組みようとする方が、その夢を実現するための資金を集めるためにインターネット上で工夫された引換券を特典に一定の資金調達を行う仕組みで、現在、広く様々な事業に活用されていますが、今回、「くりくり」様におかれては、オ



約400点の製品が並ぶ店内の様子 (メイン2階で)

一角に売り出せる「まちのホットステーション」とますますなっていくか、御状況を心から応援しています。「くりくり」のご発展が、障害のあるなしに全くなかわらず、互いの喜びや感謝を交換し合い、互いに尊びあい支え合う、これからの時代の真の共生社会の実現に向け貴重な一歩になっていくと確信しています。市内外のたくさんの皆様にご来店いただき、「くりくり」のご事業が末永く実り多くご繁栄されますことを心から祈念します。

京丹後市長 中山 泰

このたび、京丹後市内で障害者事業所製品を販売される4つの法人により市内の中心的商業施設メインにおいて開設・運営されている製品販売ショップ「くりくり」が、昨年12月からインターネット上での事業資金(50万円)募集のクラウドファンディングプロジェクトを開始され、先般(2月8日)見事、成功されました。私自身は行政の場で側面させていた限りの立場ですが、率直に、本当におめでとうございます。

「和」がますます広がっています！

「和」がますます広がっています！

市長 **中山 泰**

和気 泰来



リジナル新商品の取組みを実施するための不足額を補い、自立・継続してより一層事業を発展させようと、このプロジェクトに挑戦されたとお聞きします。例えば、「¥30000の支援で受け取る引換券Ⅱ自社製造の9000円相当の詰め合わせギフト」から「¥30000の支援で受け取る引換券Ⅱ同じく30000円相当の詰め合わせギフト+50000円相当の商品券」(以上、共通して「くりくり通信」のお届け付き)まで、引換券を工夫されて考案

達に成功されました。これも、「くりくり」の従業員、各事業所で製品づくりに勤しめる方はじめ全ての関係者の皆さんの開店以来の真剣なご尽力の賜物であり、これに惹き寄せられるように、限りのない可能性を自ら開拓されていく、チャレンジスピリットあふれるホットステーションの実現へと多くの人の協働の「和」が広がっておられることに、心から素晴らしいさを感じます。

「個人的に才能豊かな魅力ある商品にふれるお店」をキ

商品のふれるお店をキ



円頓寺仁王門

円頓寺は、久美浜町円頓寺に所在します。円頓寺には、この本尊の薬師三尊像(重要文化財)、熊野十二社権現懸仏・銅製経筒・惣門再興勸進状(京都府指定文化財)など多くの文化財が残されています。惣門再興勸進状には、鬼を退治した用明天皇の皇子が薬師如来像を安置して寺が始まったと記されています。現在は仁王門と本堂・庫裏などを残すのみですが、もとは周辺にたくさん坊が立ち並ぶ大きなお寺であったと考えられます。

京丹後市の文化財 107

## 円頓寺仁王門

### 市内に残る数少ない仁王門

仁王門は桁行6.5メートル、梁間4.5メートルを測る入母屋造、茅葺(銅板で覆い保護しています)の門です。門を支える柱は礎石の上に立っています。門の両側には鎌倉時代に造られた金剛力士像が立っています。建物の飾りの様子や享保7(1722)年10月の棟札が残ることから、仁王門はこの年に造られたものと考えられます。建築年代が明らかであるとともに、市内に残る数少ない仁王門である点が評価され、本堂とともに平成3年7月15日付けで久美浜町指定文化財(建造物)に指定、平成16年の京丹後市発足に伴い市指定文化財となっています。

(文化財保護課)



### “ふるさと京丹後” 発展に向け意見交換

第7回「京丹後ふるさと応援団交流会」を開催



▲ 歓談し交流を深める出席者

京丹後市にゆかりや愛着を持つ市外在住者で構成する「京丹後ふるさと応援団」の交流会を2月7日、京都市内のホテルで開催しました。

7回目となる今回は、「京丹後ふるさと交流会」と題し、団員のほか京丹後ゆかりの方々も参加。計81人が交流を深めました。中山市長の開会挨拶に続き、市の観光施策の紹介や東京丹後人会の青田久美子さんによるスピーチ、特産品抽選会などを実施。参加者たちは、京丹後への思いや活動内容などを話の種に歓談し、「ふるさと京丹後」の発展に向けて意見を交わしていました。

京丹後ふるさと応援団は、市外在住者の人脈や知識、提言をまちづくりに生かすとともに、全国に市の魅力を発信するため、平成19年に発足。平成27年1月末現在、322人の団員が活動しています。

### 野田川「第14トンネル」で貫通式

延長1964メートル 平成28年3月に完成予定



▲ セレモニーで貫通を祝う関係者ら

山陰近畿自動車道(宮津市-鳥取市)野田川大宮道路の「第14トンネル(仮称)」の貫通式が1月28日、与謝野町のトンネル坑内で行われ、関係者や地元住民ら約160人が出席して貫通を祝いました。このトンネルは与謝野町から京丹後市までの延長1,964メートルで、平成28年3月に完成を予定しています。

式典では、貫通したことを確認する「貫通発破」が行われ、府道路公社の神敏郎理事長ら3人がスイッチを押すと、工事に使うダイナマイトの爆発音を模した音が鳴り響きました。このほか、貫通点のお清めや通り初め、樽神輿なども行われました。

野田川大宮道路は、宮津市須津から大宮町森本までの約4.3キロで、府が平成17年4月に着工。平成28年度中の開通を目指して整備が進められています。

# 図書館だより

◆開館時間／10時～18時（峰山・あみののみ水曜は19時まで）  
毎週月曜・毎月1日は休館日（土日祝日と重なる場合は翌日）

◆貸出／1人20点まで・2週間

◆図／峰山図書館（☎62-5101） 大宮図書室（☎69-0672）  
あみの図書館（☎72-4946） 弥栄図書室（☎65-2101）  
久美浜図書室（☎82-1771） 丹後図書室（☎69-0664）

3月図書館カレンダー

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | 4  | 2  | 3  | 4  |

## 今月のおすすめ

● **あかり** 林 木林／文 岡田 千晶／絵 光村教育図書

**子ども向け**



女の子が生まれたとき、初めて灯されたろうそく。家族のたいせつな夜には、いつもろうそくのあかりがあった。家族を見守り続けたろうそくは、やがて溶けて小さくなっていった。ろうそくのあかりのぬくもりが、「いのち」の喜びを静かに伝えてくれます。

● **紙つなげ！彼らが本の紙を造っている** 佐々 涼子／著 再生・日本製紙石巻工場 早川書房

**大人向け**



出版のための紙を製造している、日本製紙石巻工場。2011年3月11日、津波に呑みこまれ、その機能は完全に停止した。絶望的な状況の中、「工場が止まると日本の出版は終わる…半年後に機械を動かす」と宣言し実現させた、従業員たちの闘いの記録。

## 「ささえ合いながらともに生きる」特設コーナーを開設

峰山・あみの図書館では、3月の「自殺対策強化月間」に合わせて「ささえ合いながらともに生きる」特設コーナーを開設します（写真・あみの図書館）。本との出会いは、あなたの心に生きる「ヒント」や「ちから」を与え、あなたの大切な人の「こころのSOS」に気づききっかけになります。誰も、こころが疲れたり、生きることがつらくなるときがあります。図書館には、そんなあなたを癒し、ささえしてくれるたくさんの本がありますので、ぜひご覧ください。相談窓口を掲載したパンフレットなども設置しますので、ご自由にお持ち帰りください。

## 丹後図書室で「立春おはなし会」歌って遊ぶ“わらべうた”楽しむ

丹後図書室で2月1日、「立春おはなし会」“わらべうたであそぼう”を開催しました。参加した親子など35人は、歌を歌ったり、「おしくらまんじゅう」や「なべなべそこぬけ」の歌に合わせて身体を動かしたりして、わらべうたを楽しみました。最後には、にわとりの鳴きまねをするおもちゃ「ととけっこう」を作りました。



歌に合わせて身体を動かす参加者

# 一般社団法人損害保険協会、市消防団に軽消防車を寄贈

市消防団は2月5日、一般社団法人日本損害保険協会から軽消防自動車の寄贈を受けました。この寄贈は、社会公共的な観点から、地域の防災力を高めようと、同協会が1952年から実施しているもの。今年度、本市に寄贈されました。軽消防自動車は、デッキタイプの

4人乗り、4輪駆動の3速オートマチック車。最新式のB-2級小型動力ポンプ、赤色回転灯などを搭載し、緊急自動車として承認を受けた車両です。寄贈された軽消防自動車は、網野第2分団第3部（網野町下岡）へ配備しました。



▲京都損保会馬場孝夫会長から目録を受け取る道家徹司団長



▲取扱説明を受ける網野第2分団第3部の団員たち

## 網野第2分団第3部 山下 琢 部長の決意

今回、軽消防自動車を網野第2分団第3部に配備していただき、ありがとうございます。受納式後に最新のポンプを操作した団員は、操作に対する反応の速さや放水能力の高さに感嘆の声を上げていました。我々消防団員の使命は、地域住民の生命、身体及び財産を火災や災害から守ることです。操作する全団員が新しい軽消防自動車に一日も早く慣れ、万一の有事の際に小型車両の機動性を生かした迅速、的確な消防活動ができるよう訓練に励みます。また、この車両を活用し、予防活動としてのパトロールを重点的に行います。

## 広報クイズ

今月号の記事の中からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人に図書カード500円分をプレゼント！

- 問1 今月号の表紙は丹後町岡成地区の奇祭「○○打ち」
- 問2 河村たかし○○○市長が講演
- 問3 第7回「京丹後○○○○応援団」の交流会を開催

◆応募方法…はがきに ①クイズの答え（○の中に入る数字や文字） ②住所 ③氏名（ふりがな） ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙の感想やイラスト、取り上げてほしいテーマなどをご記入の上、秘書広報広聴課まで（宛先は裏表紙を参照）。なお、お寄せいただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。※⑥の項目も忘れずにご記入ください。

- ◆応募締切…3月13日（金）当日消印有効。当選者の発表は4月号のこのコーナーで。
  - ◆1月号の答え…問1：花 問2：九 問3：ゲートボール
  - ◆1月号当選者…吉岡宏恵さん（峰山町）、松田晃史朗さん（峰山町）、仲村幸子さん（久美浜町）、長砂さち代さん（峰山町）、堀英子さん（大宮町） 応募総数47人／全員正解
  - ◆2月号の答え…問1：シルク 問2：100 問3：笑顔士
  - ◆2月号当選者…藤本恵美子さん（久美浜町）、今井善四郎さん（網野町）、木村絹子さん（網野町）、金久八重子さん（弥栄町）、岡本正子さん（網野町） 応募総数36人／全員正解
- たくさんのご応募ありがとうございました。

## 京丹後市国際交流協会



## 安芸高田市国際交流協会と「防災パートナーシップ協定」締結

市国際交流協会は2月9日、広島県安芸高田市国際交流協会と「防災パートナーシップ協定」を締結しました。協定には、災害発生時に外国人への多言語での情報提供の際に必要な翻訳作業などをサポートし合うことなどが盛り込まれています。災害時には、普段、日本語の会話ができる外国人でも理解しにくい「家屋倒壊」「安否確認」などの言葉が飛び交います。外国人を災害時の情報弱者としないために、両市の在住外国人への防災教育に努めるとともに、理解しにくい言葉など、課題を共有していきます。

## 京都府丹後文化会館 インフォメーション

平成26年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ 京都府次世代文化継承・発展事業

## TEN・NYO の贈り物 3/24(火) 前売券発売中

時 開演 18:00 (開場: 18:30)  
所 京都府丹後文化会館 (峰山町杉谷)  
因 丹後の小・中・高生がミュージカルを通して生きる素晴らしさを伝えます。  
料 500円 (一律) ※3歳以上有料  
図 京都府丹後文化会館 ☎62-5200  
主催 / (公財) 京都府丹後文化事業団・京都府  
後援 / 京丹後市教育委員会 協力 / (株)ダンスオペラ・エデュケーション



## 共同募金へのご協力ありがとうございました

平成26年度共同募金運動（赤い羽根募金）および歳末たすけあい募金へのご協力ありがとうございました。皆さんからお寄せいただいた赤い羽根募金は、府内福祉施設の整備や地域福祉事業などに使われます。また、歳末たすけあい募金は、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、特に困りの方に配分させていただきました。

- 赤い羽根募金 9,113,259円
  - 歳末たすけあい募金 7,544,117円
- [平成27年1月末現在]



パソコン画面を見ながらシンセサイザーの鍵盤をたたき、曲作りに励む中西さん



## kyotangojin

シンセサイザーの使い手  
FMたんご 局長代理

中西 進さん(45) 峰山町長岡



### 人との絆から

### 最良の音を奏でる

FMたんごでラジオ放送に携わる中西さん。物静かな人柄だが、シンセサイザーを使って音を作り、有名アーティストと携わってきた一面を持つ。中西さんに、どんな音でも奏でられるというシンセサイザーの魅力を尋ねた。



シンセサイザーに出会ったのは、小学生のころに見たテレビ番組。『小さなピアノ』に見えるのに、鍵盤をたたくとギターやドラム、雷や風の音まで流れており、衝撃的だったという。機材は高価で手が出なかったが「カタログを眺め、専門書まで買って読み込むことで、使っている『気分にはひたっていた』と笑う。そして、高校時代にようやく手に入れることができた。

『事前学習』が功を奏し、さっそく音作りやプログラミングに没頭。将来は、シンセサイザーを使ってアーティストが求める楽器の音や音階、自然音などを作り、レコーディングなどに携わる「シンセプログラマー」を夢見た。

大学卒業後、上京して、運よくプロのシンセプログラマーに師事できた。しかし、レコーディングの独特の雰囲気にもまれ、緊張のあまりミスを連発。これをきっかけに、師匠と十分なコミュニケーションがとれなくなっていく、また、師匠からの不条理な言動にだんだんと心が折れ、悪循環に陥って結局解雇された。

「せっかくなのチャンスが無駄にした」と悔やんでいた矢先、有名アーティスト「TUBE」のツアー前のリハーサルをサポートする仕事の依頼が入った。千載一遇の機会だが「自分の失

敗で演奏を台無しにしてしまうかもしれない」と足がすくんだ。しかし「これをやらないと、一生成長できない」と、意を決した。約10日間、メンバーとみっちり付き合ひ、意見を交わしながらライブで演奏する曲のイメージを作った。結果、メンバーや関係者から高い評価や励ましの言葉を掛けられ、自信がもった。これを機に「松山千春」「ゆず」「かぐや姫」など名だたるアーティストのレコーディングに従事した。

音を作る際に一番気を付けるのは、空気感。『シンセサイザーは、どんな音でも作れるし、プログラムすれば私一人でオーケストラもできる。ただ、奏者の感情や思いを無視して譜面通りに作ると、全く味のない演奏になる』という。「音作りは、楽器の特徴に加え、奏者の演奏法や空気感、テンションまで気を配ることが必要で、時にはリズムや音をあえて外すこともある」と話し、奏者がレコーディングする際には、間近で演奏を注視し、奏でる音を研究した。

中西さんは6年前、「この仕事を続けつつ、丹後に帰って経験を生かしたい」と帰郷。同時期に行われていたFMたんごの開局準備に立ち合い、メンバーとなった。現在は、FMたんごの各番組のオープニング曲や時報などを手掛ける傍ら、地元ミュージシャンや音楽関係者から依頼を受け、プログラミングや曲のアレンジなどを行っている。

「FMたんごでは、情報を伝えるという役割を担いつつ、ラジオを通じて地元の人とコミュニケーションを作ることを大切にしていきたい」と話し、「自分の手掛ける音楽が、そのきっかけになればなおうれしい」と顔をほころばせる。人と人の調和を大切にしながら奏でる中西さんの『音』にこれからも注目だ！

### つぶやき

▼広報きょうたんご10月号(昨年9月25日発行)が、京都府広報コンクールで知事賞(最優秀賞)を受賞しました。2年連続、ここ5年間で4回目の知事賞受賞です▼こうした賞がいただけるのも、日頃から取材に協力してくださる皆さんのおかげです。ありがとうございます。これからも、担当職員一丸となって、見やすく分かりやすい、そして京丹後のいいところを少しでも知ってもらえる広報紙を作っていきます▼広報マンは神出鬼没。どこにでも行きます。お声かけした際には、ぜひ、ご協力をお願いいたします▼秘書広報広聴課一同



### 人口・世帯数

|     |               |
|-----|---------------|
| 男   | 28,133人 (-17) |
| 女   | 30,318人 (-46) |
| 計   | 58,451人 (-63) |
| 世帯数 | 22,673世帯(-5)  |

2月1日現在 カッコ内は前月比。  
住民基本台帳(外国人含む)による。

## FMたんご ネット放送開始

パソコンやスマートフォンからFMたんごのラジオ放送を聞くことができます。詳しくは、FMたんごホームページ【fm-tango.jp/】でご確認ください。